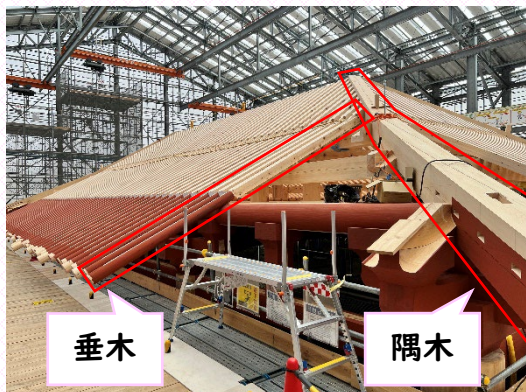




鴻雁北（こうがんかえる）

秋に飛来し、寒い冬の間を日本で過ごしていた鴈が、暖かくなってきた日本から北国へ去っていくころのことです。

今、知りたい～現場進捗～



垂木

隅木

現在、東楼の屋根工事では垂木（たるき）を隅木（すみき）に取り付ける作業を行っています。

隅木というのは構造部材の種類の一つで、屋根の頂部から四隅に向かって延びるとも大きな部材です。東楼の屋根は寄棟（よせむね）屋根と呼ばれる四つの斜面がある屋根形式で、その形式に隅木は欠かせないものです。

隅木には非常に強い荷重がかかるので、それに耐えうる強度を持つ木材が使用されます。ちなみに、東楼の隅木には檜（ひのき）を使用しています。

さあ行こう！～魅せる！現場～

日時：令和6年4月11日（木）午前10：30～
参加：16名

今回の見学会には奈良県にお住まいの方々が参加しました！
参加者からは、以下のような感想が寄せられました。

- ・「加工原寸場」で加工された部材を一部さわりましたが、簡単な加工を実際にしてみたいです！
- ・テレビで観たり本で読んだりはしていましたが、実際の現場で作り上げていく様子を目の当たりにしてものづくりの魅力を感じました。
- ・はじめて見学をして、感動しました！木材の樹齢が150～200年とのもので驚きました。宮大工の仕事を、若い人へ継承してほしいと思いました！

また、アンケートで「見学会に参加していかがでしたか」と聞いたところ94%の方に「非常に良かった」「良かった」と回答していただきました！
次回も満足度の高い見学会にしていきます！
皆様のご参加をお待ちしております！



加工された木材を
さわる体験！

木材の加工原寸場



垂木の取付作業を
間近で見学！

素屋根内の足場

■現場見学ガイド ～魅せる！現場～

～2024年12月末※（終了時期未定）

■申込みサイト

<https://www.kkr.mlit.go.jp/kengaku/moushikomi/moushikomi.html>

見学申込み

京都営繕事務所

